

# 景気回復感は弱く、依然低迷が続く

## 1月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

食料品、家電小売、温泉旅館などで消費の回復や建設関連等で販売価格の改善の動きも見られるが、全体的には、依然低迷が続いている。繊維では原材料の高騰等に伴う事業収益の悪化により倒産や事業縮小が発生している。

製造業	食料品		パンはインフルエンザの多発で給食数が減少し売上が減少している。菓子は昨年より少しずつ客足が増加している。製麺は、大手との競争激化の中、年末からの動きは生・乾麺とも若干好転している。純米酒・吟醸酒の売上は好調を維持している。
	繊維・同製品		繊維業は梅春用の出荷は小ロット、短納期要求が強まっている。輸出向けは円安傾向に期待している。和装繊維は成人式、七五三向けが一段落している。伊勢崎繊維は小口商いが中心で依然低調である。ニットは、売上高が緩やかに上昇傾向だが収益改善効果はあまり期待できない。繊維製品では倒産や事業縮小、吸収合併が発生している。
	窯業・土石製品		生コンは、利根・吾妻地域は依然厳しい状況だが、他地域の出荷量は前年比増加している。コンクリートブロックは、3月までは売上増加が見込める様子だが弱含みである。コンクリート製品は、公共工事の増加で景況感が良い。砕石は、全体的に販売価格が上昇し、売上高・収益は好転している。
	機械・金属		企業による繁閑の差が大きく、雇用人員の増減にもバラツキが見られる。自動車関連、建設関連、遊具製造業は忙しい。富士重工は新型車レヴォークの先行受注が堅調である。電機関連は在庫調整を考慮し生産は抑え目だが、一部で好調の兆しが見られる。金型は、昨年並みに推移する中、企業間格差も散見される。
	その他の製造業		製材は、販売単価は上昇したが、原材料不足と凍結で設備稼働率が落ち込み納品遅れが発生している。紙加工品は、年明け後動きが鈍る中、段ボールシートの値上げ交渉が始まっている。印刷業は、設備稼働率が低下する中、原材料の上昇分の転嫁に苦慮している。ゴム製品は、受注増で人材不足も散見される。
非製造業	卸売業		卸売業は、機械器具が駆け込み需要でやや好転、農業混入事件の影響で冷凍食品は取引不調である。農産物卸は、正月明けの売上が伸び悩み低調に推移している。水産物卸は、年末年始で鮮魚の需要は増加したが反動減を不安視している。
	小売業		家電小売店は、白物家電の動きが良い。中古車オークションは、需要期に入り取引量は増加している。燃料小売は、灯油需要の落ち込みが目立つ。生花小売は、燃料費高騰で卸値が上昇している。商店街は、客足が鈍く初売りも低調である。
	サービス業		温泉旅館は、年始の入込は良かったがひと月の売上は昨年並みに終了している。不動産取引は、吾妻地域では高齢者化が進み、デイサービス施設向け物件やソーラーパネル設置用地に動きが見られる。自動車整備は、新車販売の大幅な増加の影響で継続車検件数が減少している。
	建設業		総合工事業は、事業量が多いが人件費、資材価格の高騰で利益が出ない状況、今後更なる悪化に伴い工期遅延等の発生を危惧している。塗装工事業と電気工事業は、前月に続き工事量は多く人手不足の状況である。鉄構業は、稼働率100%で適正価格へ値戻しの動きがみられる。
	運輸業		荷動きは若干回復傾向である。中でも自動車・機械関係が増加している。水物は順調、野菜は最盛期に比べて8割程度に落ち込んでいる。倉庫の空きは少ない。また運賃アップの交渉が若干認められるケースが散見される。小口輸送は、自動車部品関係は若干増加、一方食料品関係は減少し、全体的には売上高が減少している。取扱件数は増加しているが単価が下落している。軽油価格の高止まり傾向は続いている。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 105.5(前月比▲4.5%)「県統計課・12月」
- 販売電力量 130,416万kWh(前年同月比▲2.7%)「東電群馬支店・12月」
- 住宅着工戸数 1,310戸(前年同月比+35.6%)「県建築住宅課・12月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.82倍・有効1.12倍「群馬労働局・12月」
- 大型小売店販売額 271億円(前年同月比▲0.9%)「経済産業省・12月」
- 消費者物価指数(全国) 100.9(前年同月比+1.6%)「総務省統計局・12月」  
(鉱工業生産指数は17年=100とした指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)